

平成22年度 公共事業再評価調査

基準年月日 平成22年8月1日

Table with 4 columns: 調書番号 (09-02), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局河川課長 久野 顕), 担当グループ (計画G(内) 29-323)

I 基本事項 (基準日時点)

Table with 5 columns: 事業種別 (広域河川改修事業費), 地区名 (美幌川), 市町村名 (美幌町), 事業費 (7,420 百万円), 負担割合 (国 67%, 道 33%)

Table with 4 columns: 事業費 (7,420 百万円), 負担割合 (国 67%, 道 33%), 国 (4,947 百万円), 道 (2,473 百万円)

Main project details table with 2 columns: 事業目的・目標 (美幌川は、網走川に合流する一級河川で、S63年11月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。), 事業概要 (美幌川については、既改修区間の上流端(網走川合流点から上流3.3km地点)から上流4.1km(同7.4km地点)の区間、支川駒生川については、美幌川合流点から上流1.7kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。), 工事費内訳 (計画流量 Q=370m³/s (支川 60m³/s), 計画延長 L=5,800m, 築堤工 L=10,600m, 掘削工 L=5,800m, 附帯工事 道路橋12橋等, 測量試験費 1,128, 用地補償費 買収16.7ha、補償55件(建物) 990)

II 計画変更

Table with 11 columns: 事業期間 (当初 H3, 変更①, 変更②), 事業着手 (H3, H4), 建設着手 (H4), 変更年度 (H17, H22), 完了予定 (H22, H26), 経過年数 (20), 事業費 (総事業費(a) 5,944, 7,420, 7,420; 道負担額 1,981, 2,473, 2,473; 当該年度事業費 183; 累積事業費(b) 6,577; 進捗率(b)/(a) 89%)

Table with 2 columns: 変更理由・内容 (変更①: 事業費の増～実施精査による護岸延長の増、掘削工に伴う仮設工法の変更(汚濁防止施設)による。事業期間の延伸～事業実施に伴う漁業関係者との調整の結果、施工時期に制約を受けたことによる。変更②: 事業期間の延伸～駒生川の事業実施にあたり、「駒生川ワークショップ」を開催し、地域の要望や意見を取り入れながら改修を行っていることや、大型補償物件(斎場)の補償方法の検討、交渉等に時間を要したことなどによる。)

III 事業着手前の状況

Table with 2 columns: 1. 事業着手に至る経過と背景 (S63年11月 浸水被害が発生(家屋3戸、農地66ha))

Table with 2 columns: 2. 事業検討の際の手続き (住民への把握等) (H元年 美幌町より道に河川改修の要望, H3年 改修事業に着手)

Table with 2 columns: 3. 事業が効果を及ぼす地域・対象 (美幌町都橋・稲美地区の市街地及び農地 氾濫防止面積315ha、浸水防止家屋49戸、浸水防止農地268ha)

Table with 5 columns: 4. 関連する事業 (事業名, 事業主体, 事業期間, 事業費, 事業内容)

IV 事業の実施状況

Table with 13 columns: 1. 進捗状況 (1) 事業計画及び実績 (施工(工種)区分, 工事内容, 3, 4, 5, ~, 21, 22, 23, ~, 26, 進捗状況, 事業費)

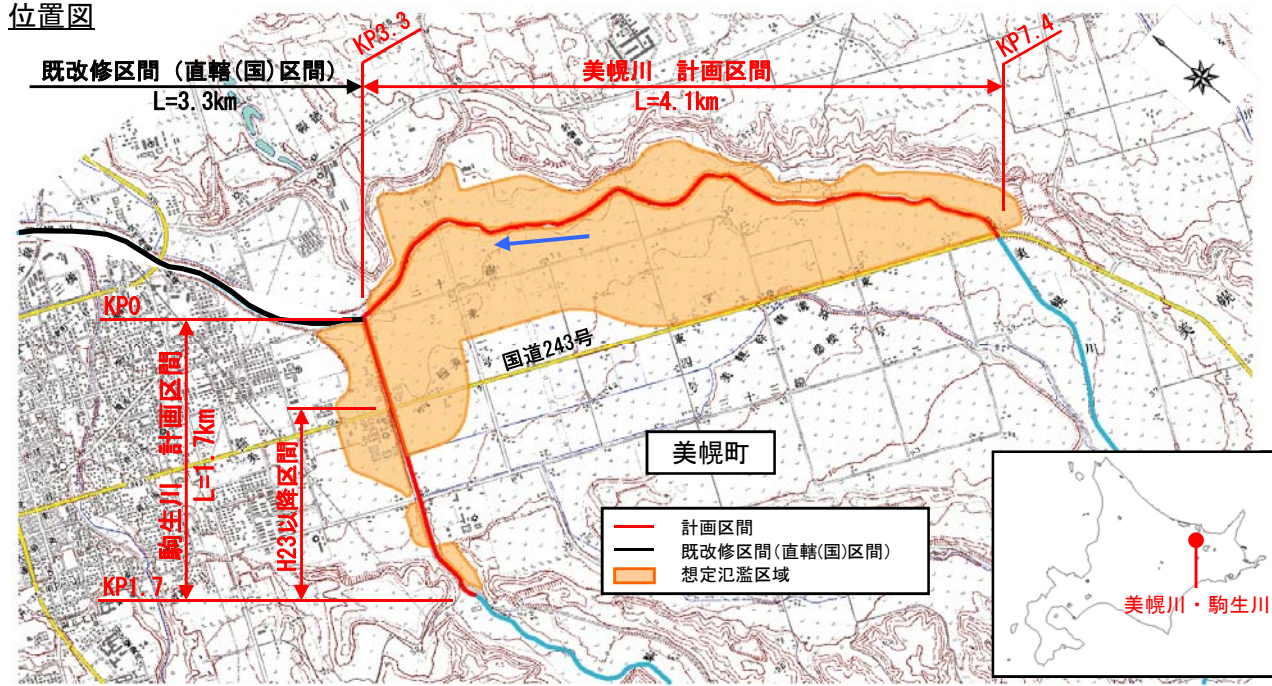
(2) 進捗状況 H21年度までに美幌川の全区間及び駒生川の国道稲美橋下流区間の整備を完了。駒生川において、地域の要望や意見を取り入れながら改修を行っていることなどにより、事業期間の延伸が必要となったものの、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

b a: 概ね予定どおり実施している b: 若干の遅れは見られるものの対処可能である c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている

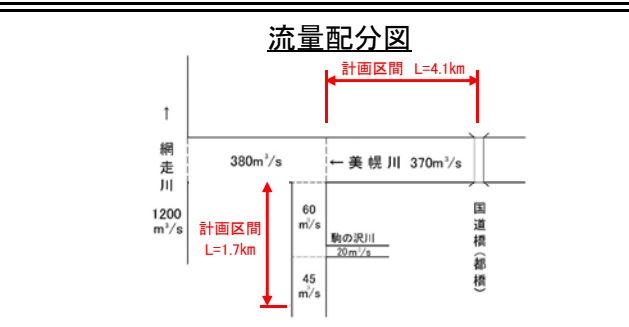
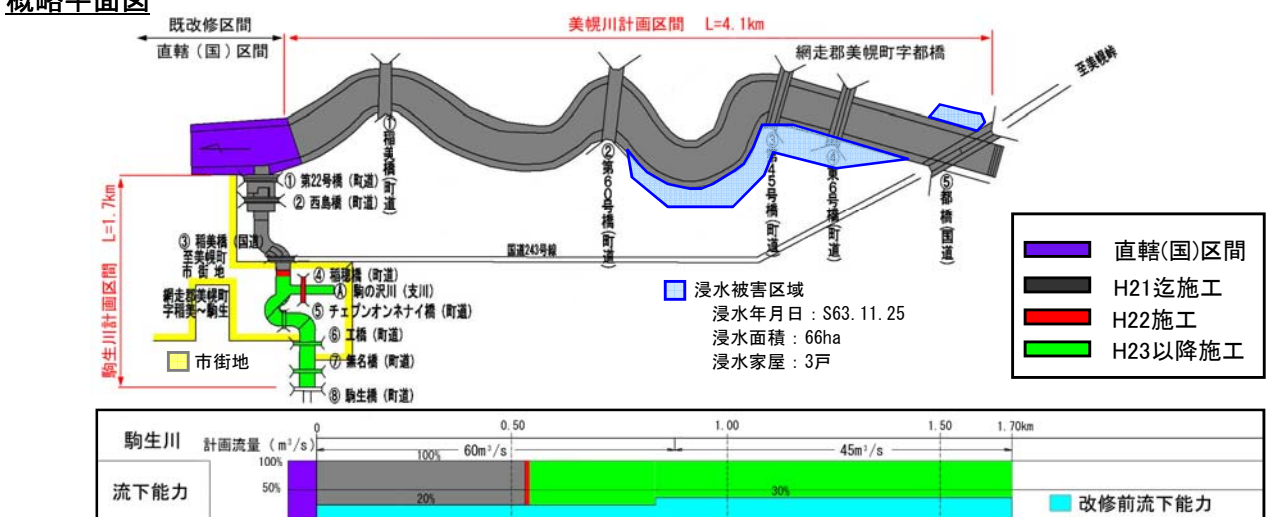
	経済効果の内訳			費用の内訳			B/C		備考	
	項目	計画当初	H22現在	項目	計画当初	H22現在	計画当初	H22現在		
2.経済効果	洪水被害防止効果	-	25,297	事業費	-	10,474	/	/	○金額は百万円 ○「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省H17)に基づき算出 ○効果及び費用は、「整備期間+完了後50年間」で算出 ○効果及び費用は、H22に現在価値化した値 ○費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。	
				維持管理費	-	40				
	合計(B)	-	25,297	合計(C)	-	10,514				-
3.コスト縮減などの取組み	取組の項目		取組内容						縮減額	
	施工の最適化		現地採取の表土を護岸の覆土へ利用するほか、工事で発生したコンクリート殻を蛇かごの中詰材へ再利用						13百万円	
<b>V 評価</b>										
1.必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、美幌町稲美地区の市街地及び農地の洪水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 事業着手後もH4年9月(家屋88戸、農地409ha)、H10年8月(家屋9戸、農地135ha)に浸水被害が発生。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>									
	a	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する      b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある								
2.事業を推進する上での課題	<b>(1) 道政課題(ほっかいどう社会資本整備の重点化方針)での位置付け</b>									
	施策優先度	A	施策名	洪水や土砂災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備			事業ウカ	2	事業優先度	II
			全道優先度	A	地方優先度	なし				
	ほっかいどう社会資本整備の重点化方針において、事業優先度は【II】に位置付けされていることから、引き続き予算の総枠との調整を図った上で、事業の推進を図る。									
	<b>(2) 環境上の配慮及び課題</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植生の早期回復を図るため、現地採取の表土による覆土や植生が回復しやすい護岸工法(自然石護岸)を採用している。</li> <li>● 魚類などの生息場所を創出するため、河岸には自然石や木杭による水制工を設置し、流れに多様性を持たせているほか、低水路を部分的に拡幅し、緩流域を創出している。</li> <li>● 低々水路を設け、魚類が生息できる水深を確保している。</li> </ul> ※再評価(H17年)以降の状況変化はない。										
<b>(3) 事業推進に対する住民の動向</b>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 美幌町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。</li> </ul> ※再評価(H17年)以降の状況変化はない。										
<b>(4) その他の課題</b>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul> ※再評価(H17年)以降の新たな課題発生はない。										
3.事業達成の見込み	駒生川において、地域の要望や意見を取り入れながら改修を行っていることなどにより、事業期間の延伸が必要となったものの、今後の事業実施にあたっては、特に支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。									
	a	a : 十分達成が見込まれる      b : 課題はあるものの達成は可能である      c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される								
4.対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、H26年度の完成を目指し、事業継続する。									
	a1	a : 継続 (a1 : 変更なし a2 : 変更あり)      b : 終了      c : 休止      d : 中止								
<b>VI 備考</b>										
1.評価履歴	事前評価 :                      年度実施                      評価結果 : 再評価 :    H17年度実施                      評価結果 : 継続(変更なし)									
2.その他の取組み事項	● 特になし									

事業名	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	美幌川	採択年度	H3
-----	----------------------------	-----	-----	------	----

位置図

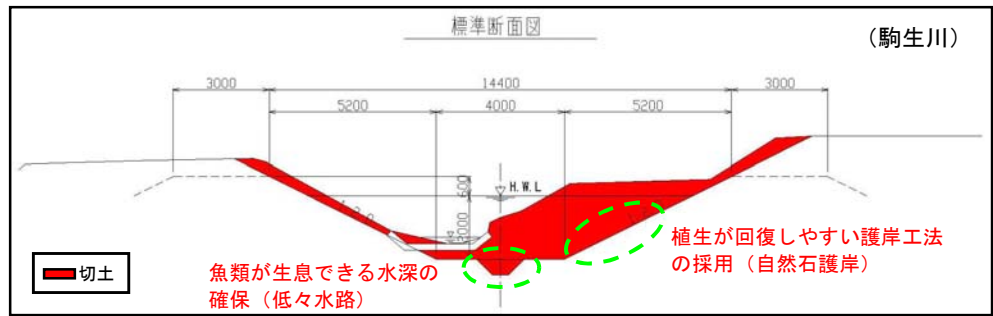


概略平面図



計画諸元

河川名	美幌川	駒生川
流域面積	179.2km <sup>2</sup>	18.3km <sup>2</sup>
計画延長	4.1km	1.7km
氾濫面積	266ha	49ha
計画雨量	22.20mm/hr	
計画高水流量	370m <sup>3</sup> /s	60m <sup>3</sup> /s
計画勾配	1/543~1/200	1/180~1/140



# 事業概要図（河川事業<sup>\*</sup>）の概略平面図の解説

※調書番号09-02~09-11の地区が対象

図の解説を赤字斜体文字で表示しています。

